

福祉・介護職員等処遇改善加算の「見える化要件」の公表について

当法人では、職員の処遇改善と職場環境の向上を目的として「福祉・介護職員等処遇改善加算」を算定しております。同加算の算定要件である「見える化要件」に基づき、当法人における職場環境改善や人材育成などの取り組み状況を以下の通り公表いたします。

今後も職員一人ひとりが安心して働き続けられる環境づくりに努め、より質の高い福祉サービスの提供につなげてまいります。

上記の「見える化要件」に基づいた当法人の取組みは以下の通りです。

① 福祉・介護職員等処遇改善加算の対象事業ならびに取得状況

事業所名	サービス種類	4月加算	6月以降
ひあたり野津田	就労継続支援B型	加算Ⅰ	加算Ⅰ口
ひあたり野津田	就労移行支援	加算Ⅰ	加算Ⅰ口
ひあたり野津田	就労定着支援	加算Ⅰ	加算Ⅰ口
ATOM	生活介護	加算Ⅰ	加算Ⅰ口
さるびあ・のぞみ	共同生活援助 (介護サービス包括型)	加算Ⅰ	加算Ⅰ口
ふじ居住支援	共同生活援助 (介護サービス包括型)	加算Ⅰ	加算Ⅰ口
富士作業所	就労継続支援B型	加算Ⅰ	加算Ⅰ口
富士清掃サービス	就労継続支援B型	加算Ⅰ	加算Ⅰ口
町田かたつむりの家	生活介護	加算Ⅰ	加算Ⅰ口
町田生活実習所	生活介護	加算Ⅰ	加算Ⅰ口
サポートセンター町田とも	生活介護	加算Ⅰ	加算Ⅰ口
はくほうホーム	共同生活援助 (介護サービス包括型)	加算Ⅰ	加算Ⅰ口
ショートステイアイビー	短期入所	加算Ⅰ	加算Ⅰ口
ショートステイグリーンガラス	短期入所	加算Ⅰ	加算Ⅰ口
ライフサポートまちなひ	居宅介護	加算Ⅱ	加算Ⅱ口
まちなひ相談室	地域相談支援(地域移行支援)		処遇改善加算
まちなひ相談室	地域相談支援(地域定着支援)		処遇改善加算
まちなひ相談室	計画相談支援		処遇改善加算

② 職場環境等要件のうち、社会福祉法人まちのひが実施しているもの。

入職促進に向けた取組	法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築（採用の実績でも可）
	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら国家資格等の取得を目指す者に対する研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する各国家資格の生涯研修制度、サービス管理責任者研修、喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修等の業務関連専門技術研修の受講支援等
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動によるキャリアサポート制度等の導入
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保
両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備
腰痛を含む心身の健康管理	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備
生産性向上のための業務改善の取組	現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している
	5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている
	業務支援ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入⇒現在、支援記録ソフトの導入実施中。（誓約）
	業務内容の明確化と役割分担を行い、福祉・介護職員が支援に集中できる環境を整備。特に、間接業務（食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等）がある場合は、間接支援業務に従事する者の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの組み換え等を行う。
	各種委員会の共同設置、各種指針・計画の共同策定、物品の共同購入等の事務処理部門の集約、共同で行うICTインフラの整備、人事管理システムや福利厚生システム等の共通化等、協働化を通じた職場環境の改善に向けた取組の実施
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善
	利用者本位の支援方針など障害福祉や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供
	支援の好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供